



2007年6月12日
上智大学
イオン1%クラブ

「シハヌーク・イオン博物館」開館について

11月2日、世界遺産「アンコール・ワット」隣接地で開館式典を開催

上智大学（学長 石澤良昭）とイオン1%クラブ（委員長 岡田卓也）は、カンボジア王国の世界遺産「アンコール・ワット」隣接地に「シハヌーク・イオン博物館」を開館いたしますのでご案内いたします。

「シハヌーク・イオン博物館」は、2001年に上智大学のアンコール遺跡国際調査団によってバンテアイ・クデイ遺跡から発掘された歴史的価値のある274体の仏像（廃仏）を展示・研究するための施設です。イオン1%クラブは、石澤学長の「仏像を発掘したこの土地で研究を続け、保存し続けたい」との強いご意志に賛同し、世界遺産であるアンコール・ワットの保存・継承のため博物館の建設にご協力するものです。

2003年11月、石澤学長と岡田委員長がカンボジア王国のシハヌーク国王陛下（当時）に謁見、博物館建設の趣旨をご説明し、敷地をカンボジア王国政府から無償提供頂くとともに、名称を「シハヌーク・イオン博物館」とすることの快諾をいただきました。

本年11月開催予定の開館式典においてこの博物館は、上智大学とイオン1%クラブからカンボジア政府に寄贈され、開館後はアンコール地域遺跡整備機構（略称：アプサラ）の下、地元の方々により管理・運営されます。また、世界各国から数多くの方々にご来館頂く事を願い、雅楽師 東儀秀樹氏に博物館のテーマソングを作曲いただきました。この式典において、東儀氏とBAO（同氏により選ばれた中国伝統楽器演奏グループ）により、その曲目を演奏していただきます。

上智大学およびイオン1%クラブは、この博物館が未永く世界各国から数多くの方々にご来館いただくことを祈念しております。

記

【博物館概要】

博物館名： シハヌーク・イオン博物館
（英語名 Preah Norodom Sihanouk Museum）
建築主： 上智大学
コーディネーター： 石澤 良昭（上智大学長）
建設協力者： イオン1%クラブ（委員長 岡田 卓也）
所在地： アンコール・ワット隣接地の国有地
敷地： 13,140㎡（カンボジア王国政府から無償提供）
建物面積： 1,820.90㎡
延べ床面積： 2,533.80㎡
構造： 鉄筋コンクリート2階建

【オープニングセレモニー】

開催日 2007年11月2日(金)

8:00～9:00 オープニングセレモニー

9:00～10:00 内覧会

10:00～11:00 記者会見

開催場所 シハヌーク・イオン博物館

出席者 カンボジア王国側

(予定)

- ・カンボジア国王 ノロドム・シハモニ 陛下
(H.M.King Norodom Sihamoni, King of Cambodia)
- ・カンボジア前国王 ノロドム・シハヌーク前陛下
(H.M.King Norodom Sihanouk, Former King of Cambodia)
- ・カンボジア首相 フン・セン 閣下
(H.E.Mr. Hun Sen, Prime Minister)
- ・カンボジア副首相 ソク・アン 閣下
(H.E.Mr. Sok An, Deputy Prime Minister, President of APSARA Authority)
- ・アンコール地域遺跡整備機構総裁 ブン・ナリット 閣下
(H.E.Mr. Bun Narith, Executive Director General, APSARA Authority)

日本側

- ・カンボジア王国駐劔特命全権大使 篠原 勝弘 閣下
- ・学校法人上智学院理事長 高祖 敏明
- ・上智大学長 文学博士 石澤 良昭
- ・イオン1%クラブ委員長 岡田 卓也

以上

【イオン1%クラブのカンボジアでの活動】

1998年からの3年間、地雷の被害にあったカンボジアの人々に義手・義足を提供し、リハビリテーションを行う施設である「バタンバン義肢センター」への支援活動を実施し、総額1億7,363万円を寄付。

2000年11月に次代を担う青少年の国際的な相互理解、親交を深めることを目的とした「小さな大使」事業として、カンボジアの高校生24名を日本に招待。

2000年からの4年間には、内戦により失われた教育基盤の早期回復を願って実施した「カンボジア学校建設」支援事業で、149校の小学校をカンボジアに建設。

2002年から3年間、世界遺産のアンコール・ワット周辺に植樹を実施。日本からは、757名のボランティアに参加頂き、総数6,600本を植樹。

【東儀秀樹氏とBAOによるオープニングコンサート】

開催日	11月2日(金) 11月3日(土)
開催場所	カンボジア王国 シェムリアップ「シハヌーク・イオン博物館敷地内」 および「アンコール・ワット」周辺(予定)
演奏者	東儀秀樹氏とBAO(中国伝統楽器演奏グループ)
実施内容	この博物館に世界各国から数多くの方々にご来館頂く事をテーマに作曲頂いた、オリジナルテーマ曲やその他オリジナル曲を演奏

【「イオン1%クラブ」】

イオン1%クラブ(委員長:イオン(株)名誉会長相談役 岡田卓也)は、グループ優良企業各社から税引き前利益の1%を拠出し、「環境保全」「国際的な文化・人材交流、人材育成」「地域の文化・社会の振興」を柱に、良き企業市民として地域社会への貢献活動を推進するために1989年に設立しました。

具体的な活動としては、グローバルな視点で、日本と海外の青少年との相互理解と親交を深めると共に、環境問題を考える「小さな大使」事業。開発途上国での教育支援を目的にカンボジア・ネパール・ラオスなどで学校建設を支援。次代を担う子供たちに「ドイツに学ぶエコライフ」や「イオンチアーズクラブ」の活動などを通し、環境への関心を高め自然の素晴らしさを伝える、などの環境保全・社会貢献活動を支援しています。

<イオン1%クラブ参加企業 33社>

イオン(株)、イオンクレジットサービス(株)、(株)マイカル、イオンモール(株)、(株)ダイヤモンドシティ、イオン九州(株)、(株)マイカル九州、マックスバリュ北海道(株)、マックスバリュ東北(株)、マックスバリュ東海(株)、マックスバリュ中部(株)、マックスバリュ西日本(株)、マックスバリュ九州(株)、ミニストップ(株)、ウエルシア関東(株)、(株)ブルーグラス、(株)コックス、(株)イオンフォレスト、(株)未来屋書店、メガペトロ(株)、オリジン東秀(株)、ローラアシュレイジャパン(株)、ペットシティ(株)、(株)サンデー、(株)イオンデイライト、(株)イオンファンタジー、チェルト(株)、(株)ツヴァイ、リフォームスタジオ(株)、イオンシネマズ(株)、ジャスベル(株)、(株)フードサプライジャスコ、アイク(株)、

以上